

能登半島地震復興支援ボランティア 石川県七尾市・珠洲市で活動してきました

8月6日（火）から8月8日（木）の2泊3日で稲美中学校3年生生徒会9名と教職員4名、コミスク委員5名、ボランティア2名、合計20名で石川県能登半島へ復興支援ボランティアに行きました。コミスクではここ数年、中学生を中心に防災について地域の方々とともに学びを深めてきました。1月1日に能登半島で起きた震災の話題を毎回コミスク会議で取り上げてきました。今回、本校の防災アドバイザーの又吉健二先生や稲美町社会福祉協議会のご協力を得て、現地にて支援活動を行うことができました。全国から駆けつけた多くの仲間とボランティアできたことは貴重な体験でしたが、私たちが想像している以上に現地の状況は厳しく、復興にはまだまだ時間がかかることを知りました。生徒たちが現地の様子を見て、現地の方々と言葉を交わした経験を稲美中や稲美町に広めて欲しいと思います。私たちコミスク委員が体験したことも地域の方に伝えたいと思います。能登の1日も早い復興を願うとともに、今回の活動にご理解とご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。



↑ 社協さんのバス 町長、会長の激励で出発 ↑ 珠洲市ボランティアセンターで説明会 ↑ 倒壊した家屋とその周辺でボランティア活動
↓ 家主さんの思い出の家具を搬出 ↓ 作業後、生徒から絵手紙を渡し、お礼にスイカを頂きました ↓ ボランティアセンターの皆さんと

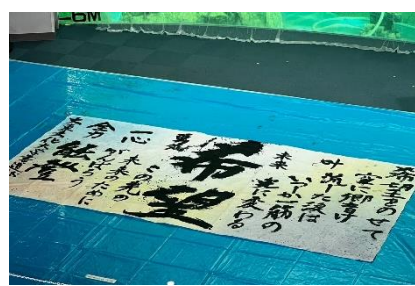


《能登半島地震復興支援ボランティア 教育プログラムの内容》

- ◆教育プログラムのテーマ：ボランティアに行くにあたり「なぜ復興が遅れているのか？」「災害関連死が多いわけは？」「和倉温泉復興に向けて」「のとじま水族館の再開とこれから」「ボランティアセンターの役割について」の事前学習を行った。文化芸術部が絵手紙を作成し、現地の方にプレゼントの準備をした。
- ◆2泊3日の行程：1日目 9時00分 稲美中出発→17時00分 和倉温泉到着→被災状況現場視察
2日目 7時30分和倉温泉出発→9時30分珠洲市ボランティアセンター到着→10時00分 民家片付け
災害廃棄物集積場運搬→14時00分ボランティア終了→16時30分 和倉温泉観光協会座談会
3日目 9時00分 のとじま水族館見学→12時00分 金沢駅近江町市場→19時00分 稲美中到着



↑老舗旅館も再開には3年はかかる ↑和倉温泉観光協会宮西さんと座談会、最後に「ふるさと」と「上を向いて歩こう」を歌った
↓再開された「のとじま水族館の見学」 職員から被災当時の話を聞く ↓水族館に送られたメッセージ 爪痕は至る所に…復興を! ↓



【感想】

今回能登のボランティアに行き、より考えさせられることが多くありました。

ニュースなどでしかどんな状況なのか知ることができなかったけど、実際に行ってみるとあまり進んでなくて驚きました。そして地震の恐ろしさを肌で感じました。

特に、印象に残っているのは和倉温泉観光協会の宮西さんのお話にあった「人が1番大切」ということです。何をしてもやっぱり人がいないとできないし、地元の方たちが残っていてくれることで支援だったり復興だったり、たくさんの力になる存在なんだと学びました。

そして実際にボランティアをして、ボランティアセンターの方が「悲しむとか同情せずに、楽しんできて」という言葉がとても意味深いなと思いました。私たちのボランティア先は家具などを家から出し、分別し捨てるという作業でした。なので生活用品や服など思い入れのあるものを捨てるので胸が痛かったですが、とても貴重な時間だったなと思いました。

(生徒代表 永田さん)

【感想】

私は今回能登半島へボランティアに行き、実際に足を運んだからこそ感じられたことが沢山ありました。

現地に向かう途中、道路に亀裂があったりガードレールが曲がっていたりと被害の大きかったところに近づくほど地震の恐ろしさがよく分かり驚きと不安でいっぱいでした。実際にボランティアに行くと、地元の人だけでなく、遠いところから来ている人もいました。そして1番印象に残ったのは現地の人のかっこいい笑顔です。ボランティアに参加している人も、家主の方も辛いことが沢山あったはずなのに、優しく接して下さり、こちらまで笑顔になれました。それだけでなく旅館の人も親しみやすく話しかけてくれるひとばかりで、色々な人が震災の時の話を詳しくしてくださりました。

「メディアで取り上げられなくなったことで能登を忘れられてしまうことがいちばん怖い」この言葉を聞いて私たちが伝えていかなければいけないと感じました。復興に大切なのはまず「人」であると教えていただいたので、たくさんの人に石川の苦しみだけでなく、これを機にいいところもたくさん知ってもらえるよう、伝えることを大切にしていきたいと感じます。

現地に足を運んで、実際に見て、声をきいて、肌で感じたことで得られたものが沢山ありました。改めて貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。

(生徒代表 辻本さん)

稲美中50周年記念

2024年11月2日(土) (雨天予備日: 11月4日)

チャリティリレーマラソン
誰かのために走りたい

